

学 校 だ よ り

平成28年3月25日



最終号

NO. 325

横浜市立茅ヶ崎小学校
校長 岩本 悦子

「門出の季節」

心地よい春風の吹く季節となりました。

さて、3月18日に第27回卒業証書授与式が行われました。地域の皆様を始め、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、学校生活のあらゆる場面で最上級生として活躍してくれた六年生93名が卒業しました。

五年生は最上級生としてのバトンを受け取り、頼もしさを感じます。一年生も小学校生活にすっかり慣れ、あどけなさの中にも自信溢れる言動が見られます。二年生から四年生も、それぞれの教室に掲示されている学習活動の記録等や毎日の挨拶の様子から成長を感じます。

3月は、子どもたち一人一人が進級を前に「がんばったこと」「できるようになったこと」など、努力や成長を実感できる時期です。学校でも学校評価を実施し、成果と課題を明らかにしています。

子どもたち一人一人が自分の成長を実感するためには、自分自身をしっかり振り返ることが重要です。その時、子どもたちの周りにいる大人の役割は大きいと思います。日々の忙しさと慌ただしさで、子どもの何気ない言動の中に表れたよさや成長を見逃してしまったり、できて当たり前と忘れてしまったりしてしまうことがあります。この門出の季節に、子どもたちの努力や成長を認め、温かい言葉で具体的に伝えることが大切です。学校だけではなく、保護者、地域の方々から、自分の努力や成長を具体的な言葉で伝えられた子どもの心は、きっと喜びと充実感に包まれることと思います。子どもたちが、意欲と希望をもって新年度の生活をスタートするための準備が始まっています。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の方々に、ご支援・ご協力いただきましたことを心より感謝申し上げます。

